

基地問題 ニュース 沖縄情報 社説・コラム 電子新聞 SNS デジタル特集 スポーツ ショップ

今日のニュース 今日の紙面掲載記事 サクッと 政治 経済 社会 スポーツ 国際 文化・芸能 エンタメ プレスリリース 深掘り Q&A English

トピックス&まとめ 全国学力テスト 問題と解答 琉球の酒と食を愛でる 2019年度社員採用 社告 1935年の沖縄 沖縄空手 情報お寄せください

沖縄タイムス+プラス プレミアム

4月21日(土) 紙面

名護住民35人が「東海岸漁協」設立 顧問に稲嶺前市長 沖縄県に認可申請へ

ご購入のお申込み



最大2ヶ月無料でお試し 電子新聞のお申込み

2018年4月21日 14:05 農林水産業 漁業 名護市 稲嶺進 普天間移設問題・辺野古新基地

シェア 12

Tweet

1

G+

沖縄県名護市東海岸に面した地域の住民35人が20日、市三原地区会館で「名護市東海岸漁業協同組合」の創立総会を開き、組合を設立した。出席者が定款や事業計画の各案を承認し、役員を選出した。



拡大する

定款や事業計画の各案を承認する名護市東海岸漁協の創立総会＝20日、名護市三原地区会館

組合長には「名護市東海岸漁協設立準備会」の久志常春委員長が就任した。沿岸部住民が海に入って水産物を取れる「入会漁業権」の確立が目的で、今月中に県に漁協としての認可を申請する。

事業計画には養殖モズクやアオサ、近海産の鮮魚や貝類の販売事業、水産物の加工販売事業のほか、資源保護や環境保全に関する啓発活動、追い込み漁やモズク収穫の体験学習など、利用事業も盛り込まれた。

住民側は漁協設立により「目の前の海」を活用した地域活性化を図る。一方、漁業権取得を目指している海域は名護漁協が漁業権を放棄した辺野古新基地周辺の海域も含まれるため、認可された場合、新基地工事に影響する可能性がある。

久志組合長は設立と新基地との関連性を否定し、「先人がつくってきた海に関する風習や慣習を守りながら漁業をしたい」と意気込んだ。顧問で前名護市長の稲嶺進さんは「新しい活性化の種だ」と強調した。

アクセスランキング

ニュース 解説・コラム

24時間

1週間



はしか感染、30代が最多 ワクチン接種1回世代 沖縄で猛威1カ月で患者65人に 2018年4月21日 11:12